

令和7年度事業計画

第1 基本方針

本県農林業・農山村の振興及び県民福祉の向上に寄与するため、公益目的事業として、①農業後継者確保・育成に関する事業、②担い手農家の経営改善・向上に関する事業、③農林業技術の改善向上・定着に関する事業、④県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業を関係機関・団体の支援と協力を得ながら実施するほか、公益法人としての自己規律の確立や適正な法人運営の確保に努める。

第2 事業実施計画

1 公益目的事業

(1) 農業後継者確保・育成対策に関する事業（農業後継者育成部等）

新規就農者の確保・育成に向けて、就農支援制度や支援施策などに関する情報を発信しながら、就農・就業相談活動や農業経営継承支援活動等を展開する。

ア 協会単独事業

(ア) 無料職業紹介所事業

無料職業紹介事業所の許可（許可番号46-ム-300001）を受け、「農業の職業」に限定した農業法人等の求人情報を協会ホームページに掲載し、農業法人等への就職を通じ農業をしたい人を支援する。

(イ) 農業後継者育成基金事業 【予算額：5,890千円 対前年度比107%】

出捐金10億円の運用益を財源とした4つの事業を推進し、①経営開始おおむね5年以内の新規就農者の経営安定・発展、②農業高校生や農業大学校生の就農促進、独自に取り組むSDGs活動、③農業青年組織等の活動活性化、④青年農業士の育成、第三者継承就農準備や農業法人の雇用確保等の取組に必要な経費等に対して助成する。

a 新規就農者経営発展支援事業 (予算額：300千円×3人＝900千円)

新規参入者又は農業後継者の経営の安定・発展に向けた取組を支援する。

b 農高・農大支援事業 (予算額：2,200千円)

(a) 農高就農促進対策助成 (予算額：100千円×14学科＝1,400千円)

農業高校における就農意欲の醸成を図る特徴ある取組に助成する。

(b) 農大就農促進対策助成 (予算額：200千円)

県立農業大学校における就農意欲の醸成を図る特徴ある取組に助成する。

(c) 農高・農大特別活動助成 (予算額：150千円×4課題＝600千円)

農業高校及び県立農業大学校が独自に取り組むSDGs活動に助成する。

c 農業青年組織等活動活性化事業 (予算額：1,200千円)

(a) 県農業青年組織活動活性化助成 (予算額：300千円×2組織＝600千円)

地域活性化等に向けた自主的な活動に助成する。

(b) 地域青年農業者組織等活動活性化助成 (予算額：150千円×4組織＝600千円)

新たな農業者の確保などの取組に助成する。

d 農業後継者等助成・報奨事業 (予算額：1,590千円)

(a) 講座制研修旅費助成 (予算額：20千円×5人＝100千円)

離島に居住する農業青年に各種研修を受講する際の旅費を助成する。

- (b) 青年農業士認定者報奨 (予算額：10千円×20人＝200千円)
令和7年度に認定される青年農業士に報奨金を交付する。
- (c) プロジェクト等成果発表者助成 (予算額：30千円×3人＝90千円)
県代表として令和7年度の全国青年農業者会議で、プロジェクトや意見発表をする青年農業者に出会経費の一部を助成する。
- (d) 農大新卒就農者報奨 (予算額：30千円×10人＝300千円)
県内に就農・就業する優秀な県立農業大学校新卒者に報奨金を交付する。
- (e) 第三者継承就農準備助成 (予算額：200千円×2人＝400千円)
継承希望者に就農準備に係る経費の一部を助成する。
- (f) 農業法人雇用助成 (予算額：100千円×5法人＝500千円)
「かごしま就農・就業相談会」に出展し、面談者を新たに雇用した農業法人に必要経費の一部を助成する。

イ 県受託事業

- (ア) 就農支援事業 【予算額：6,551千円 対前年度比100%】

- a 就農・就業相談活動

「就農アドバイザー」を一人配置し、相談会での対面相談や協会での電話相談などに対応する。

- b 農業経営継承支援活動

後継者のいない農家の経営資産の第三者継承を促進するため、双方の希望者を募るとともに、円滑な継承に向けた助言等を行う。

- (イ) 農業次世代人材投資事業 【予算額：4,175千円 対前年度比139%】

「農業次世代人材投資資金指導員」を一人配置し、同資金の給付中や給付後の者の研修・就農状況の確認を通じて、経営の安定・発展等に向けた支援を行う。

(2) 担い手農家の経営改善・向上に関する事業（農林業技術部・6次産業化推進部）

担い手農家の経営改善等に向けて、総合的な助言・支援を行う「鹿児島県農業労働力支援センター」や「鹿児島地域資源活用・地域連携サポートセンター」を運営するほか、基盤整備予定地区の計画作成支援などに取り組む。

ア 県担い手・地域営農対策協議会受託事業

- 農業労働力支援事業 【予算額：6,332千円 対前年度比100%】

「農業労働力支援員」を一人配置し、「無料職業紹介所」と「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営しながら、「農業労働力支援員」を核に労働力確保等に関する相談対応や各種制度・取組事例等の情報収集・提供、農業分野における求人・求職者のマッチング支援等を実施する。

イ 県受託事業

- 6次産業化推進事業 【予算額：17,465千円 対前年度比97%】

「鹿児島地域資源活用・地域連携サポートセンター」を運営し、各種相談等に対応するとともに、支援対象者に対して、民間の専門家（プランナー）を派遣し、経営改善戦略の作成・実行を支援する。

ウ 県土地改良事業団体連合会受託事業 【予算額：2,100千円 対前年度比127%】

○ 農業農村整備実施計画に係る活性化計画の資料作成

計画資料の作成に必要な生産性向上等に関する基礎データ等を収集し、資料化する。

(3) 農林業技術の改善向上・定着に関する事業（農林業技術部）

農林業関係者の資質向上に向けて、研修会の開催や農林技術員連絡協議会への活動助成、機関誌を発行するほか、農林業振興に関する情報を協会ホームページ等で広く発信する。

○ 協会単独事業

(ア) 研修会の開催等

関係機関・団体の職員を対象に、農林業振興担当部課長及び職員研修会を企画・開催する。

(イ) 農林技術員連絡協議会への活動助成等

農林技術員連絡協議会の活動促進を図るため、県下7地区の農林技術協会に対して会員数に応じて活動助成金を交付するほか、農林業の功労者を次年度の総会で表彰する。

(ウ) 機関誌の発行

機関誌「緑地」を年3回（6・9・1月）発行し、新施策や新技術情報等の周知に努める。

(エ) 協会ホームページ「さくらじまネット21」での情報発信

当協会の公益目的事業の内容をはじめ、県内直売所のイベント情報等を掲載し、発信する。

(4) 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業（食の安全推進部）

市場や消費者に信頼される産地づくりと加工品の付加価値向上に向けて、「かごしまの農林水産物認証制度」と「鹿児島県ふるさと認証食品制度」の審査・認証業務を行う。

ア かごしまの農林水産物の審査・認証 【予算額：11,000千円 対前年度比92%】

毎月1回認証判定委員会を開催する。

イ ふるさと認証食品の審査・認証 【予算額：250千円 対前年度比50%】

年2回認証判定会議を開催する。

2 法人運営

(1) 理事会及び総会の開催

ア 理事会

(ア) 令和7年度第1回通常理事会

- ・ 年 月 令和7年5月12日
- ・ 主な議事
 - ◎ 令和7年度定時総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定について 等
- ・ 報告事項
 - ◎ 理事長及び専務理事の職務執行状況

(イ) 令和7年度第1回臨時理事会

- ・ 年 月 令和7年6月
- ・ 主な議事
 - ◎ 理事長，副理事長，専務理事の選任について

(ウ) 令和7年度第2回通常理事会

- ・ 年 月 令和8年2月
- ・ 主な議事
 - ◎ 令和8年度事業計画及び収支予算（案）について 等
- ・ 報告事項
 - ◎ 理事長及び専務理事の職務の執行状況

イ 総会

(ア) 令和7年度定期総会

- ・ 年 月 令和7年6月6日
- ・ 主な議事
 - ① 令和6年度事業実績及び決算財務諸表（案）の承認について
 - ② 定款の改正（案）の承認について
 - ③ 役員の改選・選任（案）の承認について
 - ④ 令和7年度会費の額及び徴収方法（案）の承認について 等
- ・ 報告事項
 - ◎ 令和7年度事業計画及び収支予算について

ウ その他

臨時理事会及び臨時総会については，適宜開催

(2) 鹿児島県公益認定等審議会

該当なし

(3) 監査

○ 監事監査

- ・ 年 月 令和7年5月1日
- ・ 監査 令和6年度事業実績・収支決算

(4) 公益法人立入検査

該当なし